

千葉県立松戸国際高等学校 太田 茉莉江

今年度の美術工芸部会の公開授業が、11月12日に県立泉高等学校にて行われました。授業者の井口好司先生はわたしの高校時代の美術の先生であり、(残念なことに直接授業を教わったことはなかったのですが)先生の課題の自由な発想と楽しさを、いつも驚きを持って見させていただいていたので、大変心待ちにしていた公開授業でした。



当日、授業前に校舎の見学をさせていただいたのですが、廊下のガラスケースに数多くの美術の授業や部活動の作品が綺麗に展示されており、井口先生の細やかさがうかがえました。どの課題の作品も色彩豊かで、美術部の大型の立体作品は完成度が高く、またテーマも素晴らしく、授業が始まる前から井口先生と泉高校の生徒さんの素晴らしさを感じました。



見学させていただいた授業は2年生の『ペーパークラフト建築模型』です。その建築模型の魅力なことと言ったら、小さな窓やパーツまで丁寧に作られており、まるで子供の頃に思い描いていた理想の家をかたちにしたようです。家の形も、ひとつひとつ屋根の形やパーツの組み合わせ方が違うことで個性が反映されており、生徒が愛着を持って制作をしている感じが感じられます。思わず、わたしにも作らせてください!と手を挙げそうになりましたが、そこはぐっところえて授業を見させていただきました。

この日の作業は模型の下部に細い紙を巻いた後、全体に着彩を施すというものでした。井口先生の説明は非常に丁寧で、生徒の目の前で全ての作業を実際にやって見せながら注意すべき点や起こりやすい失敗などを伝えており、生徒が説明の内容をよく理解して作業に取り組んでいました。模型に巻いた細い紙は建物の土台になるようで、細かい部分のこだわりが作品のクオリティを上げていると感じました。また、着彩はドライブラシの技法を使ってリアルな建物の風合いを出すなど、目的に合わせた技法の使いどころもとても勉強になりました。



建物のパーツには「スーパーでっぱり君」など井口先生らしいネーミングがされており、生徒が楽しむことができる雰囲気をつくる井口先生の変わらないお人柄に感心させられることばかりの公開授業でした。

午後は研究協議と、参加者全員によるイチオシ授業の発表でしたが、恥ずかしいことにわたしは公開授業への参加3回目にしてイチオシに出そうと思える授業がないという状況でした。付け焼刃的に鑑賞のプリントを持って行きましたがどうにも具合が悪く、改めて、絶えず教材研究をしていかななくてはと思わされたことも、今回の公開授業に参加して良かったことのひとつです。

素晴らしい授業を見学させていただき井口好司先生、また美術・工芸部会事務局、研修部の先生方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

